



# 障がい者施策で国際会議

## アクサ生命 150人が情報共有

アクサ生命は1日、都内のホテルで「2014アジア太平洋ディサビリティーマスターズ・カンファレンス&アワード」を開催した。

これは障がい者との共生を目指す国際会議で、

障害者雇用や障がいのある消費者向けサービスへの企業の取り組みに焦点

を当て国際的なビジネス

戦略を推し進める。米国

を拠点にするスプリング

・ボード・コンサルティ

ング社が主催、アクサ生

命は初めての日本開催会

議でホストスポンサーを

務めた。

アクサ生命のジャン

ルイ・ローラン・ジョシ

社長は「障がい者の受け

入れ戦略は法定雇用率を

満たすのではなく、多岐

にわたる能力と仕事につ

いて採用する際の長期的

視点が重要」という。

また、「本社では全階

営業現場でも障がい者が

働いているが、いまだ楽

観視はできない。離職率

も多く、障がい者がいな

い部門もまだある」と、

課題も示す。

国内外の障がい者施策

での優良先進民間企業の

関係者約150人が参

加。各社の具体的な事例

を紹介し、情報を共有す

ることを目指した。

パネルディスカッション

写真Ⅱに登壇した受

賞企業のひとつゴールド

マン・サクセスHCM部

門のゲイリー・チャンド

ラー部門長は、「ものづ

くりでない金融業界は、

まず、金融セクターで働

くことのスキルを身に付

けてもらうことが肝要。

その上で、どう金融人と

してのキャリアをつくる

かだ。マネージャーにな

る人の心の壁を取り払う

ことも重要」と話した。

タイのクルンタイ・ア

クサ生命も「保護でなく

機会を提供し、有能な人

に光をあてることに効

果があった」（デイウッド

・コルニCEO）と述べ

た。

厚生労働省の川村徹宏

主任障害者雇用専門官は

「日本は今年1月に国連

の障がい者の権利に批

准。これで新たなステ

ジに入る」と、民間企業

の動きに期待する。